卷末資料

意見発表者3(会場①千葉県香取市)

意見の概要

今回の検証はダム事業継続ありきという結論を出した
ための中身や進め方であり、真に関係郡県の住民にとって
の必要性が治水、利水その他の点において客観的科学的
に検証できていない。
代替案として示された内容は非現実的であり、密室審
議で行われたことは問題がある。
関係郡県側も自ら検証を行わぬ「ダムの早期完成」と
「コスト削減」を固に求めているが、ダム基本計画の変更
更との関連で今後新たな問題が生じるのではないだろう
か。
固にやり直しを求める科学者77人が声明を出しており
関係住民にとっで真に必要な対策案について再検証して
いたいただきたい。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者4(会場①千葉県香取市)

意見の概要

予断なき検証という名分には程遠い中身の検討報告(案)について以下のような点を指摘したい。

【洪水調節の施策】利根川流域の治水の基礎となる河川整備計画が策定されていないため、国交省は「整備計画相当の目標流量」なるタームを恣意的に駆使してダムの有効性を強調した。公正な議論の場でこれを行わなかったのは河川法の求める理念と規定に反している。

【新規利水の施策】利水予定者の水需給計画の見直しは必須の要件であったはずにもかかわらず、各利水予定者が需給計画の見直しを行った形跡はない。その前提に立てば「代替案はあり得ない」はずにもかかわらず、嘔然とするような代替案を提示した検討報告書の意義に疑問を表明せざるを得ない。

【目的別の総合評価】洪水調節、新規利水および流水機能の維持について対策案を抽出、対応した複数の評価軸によって評価がなされた。検証要領細目によ

って評価の最大眼目は“維持管理費も含めた上で建設コストを最重視”とした。評価項目の個別中身は膨大なもので短期間の検証作業ではダム案に比して劣位の判定はむしろ当然。予断なき検証の本来の姿は、対策案としてゼロ・オプション(ダム建設を行わない)を含むべきであった。その前提として「整備計画相当の目標流量」、「利水予定者の水需給計画」の予断なき検証も行われるべきであった。

【費用対効果の検討】2010年10月、会計検査院がダム建設の費用対効果について問題点を指摘した。今回の検証はその指摘に適正に対応したものであったのか、質問を兼ねて提起しておきたい。

【総括的な意見】①検討書作成過程で国交省河川局長から日本学術会議会長宛てに「河川流出モデル・基本高水の検証に関する学術的評価について」依頼があり(2011年1月)、その結果は公表された(2011年9月)。その経過のなかで、学術会議は河川管理の指標となる流量推定の不確実性に触れ、より合理的な河川計画の手法確立、情報の共有、合意形成を図るための計画形成を要請している。その事実には十分な留意をお願いする。②八ッ場ダムが建設されたとしても利根川の河川整備基本方針(2006)による限り、さらに追加のダム建設を想定しなければならぬことを知った。これ以上のダム建設が事実上構想できないのであるならば、河川環境の実態に即した河川整備の基本方針について関係諸団体・機関・流域住民との議論を行うことを要請する。③ダム建設が止まっても環境破壊の爪痕を記した自然が残る。地域にとどまっている住民の皆さんの生活基盤再建のために、検討中の支援法案と併せて、「利根川・荒川水源地域対策基金」が使われることを求めたい。

このような公共事業が再度繰り返されないことを切に願う。

了

意見発表者5(会場①千葉県香取市)

意見の概要

3月11日を契機として、日本のあり方についての見なおしが必要である。従来、欲求は全て備える、との発想はかなわなくなった。

このほど1024兆円を超える国の債務が明らかにされ、国民一人当たり802万円の借金を抱える、とてつもない財政危機の状況にある。

この背景にありながら、なお八ッ場ダム建設事業は従来の計画を推し進めようとしている。

ムダで危険ですらある八ッ場ダム建設事業の中で、とくに「新規利水」については、人口が減少に転じた、との国勢調査結果を反映することなく、利水参画者の野放図な積算を、国交省は検証することなく検討報告に取り入れ、大きなムダを作ろうとしている。

東京電力福島原子力発電所の事故により、国民はわずかな節電の実施によって、原発によらない安全な生活を得られるという実績を積んだ。

利水においても「節水」という行動で、孫子への借金を減らすことが出来る、という利益を得られることに気づき、すでに実行している。

電力を節電しながら、水を流しっぱなしにする生活を国民は望んではいない。

新たな時代における、国民の節水と将来にわたる人口の減少、下流域での地下水の利用（東京都、千葉県のいずれも現状の利水維持）で、新規利水は不要である。

水需要計画を予断無く検証し、八ッ場ダムにとらわれない計画の策定をすべきである。

すでに6都県は国土省に対し、「完成が遅れた場合、ダム完成の時点でダム参加が不要になっていることも想定される」、と将来において水需給が減少することを認識した意見を表明しているのである。

以上

意見発表者1(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

算	地	元	県	民	と	し	て	は	、	何	よ	り	も	、	計	画	ど	お	り	の	期	間	と	予
無	い	案	を	希	望	し	ま	す	。															
	八	ッ	場	ダ	ム	の	本	来	の	目	的	で	あ	る	、	利	根	川	の	総	合	的	な	コ
	ン	ト	ロ	ー	ル	の	た	め	に	は	、	一	支	流	に	巨	大	な	ダ	ム	を	造	る	よ
	も	、	適	正	な	規	模	の	ダ	ム	や	堤	防	・	遊	水	地	等	各	種	の	治	水	利
	施	設	を	利	根	川	全	体	に	バ	ラ	ン	ス	よ	く	配	置	し	、	相	互	に	関	連
	せ	て	運	用	す	る	方	が	効	率	的	・	合	理	的	で	あ	る	こ	と	は	言	う	ま
	も	な	い	こ	と	だ	と	思	い	ま	す	。	八	ッ	場	ダ	ム	の	問	題	点	は	、	大
	す	ぎ	る	こ	と	で	す	。	ダ	ム	関	連	工	事	の	遅	れ	も	事	業	が	大	き	す
	る	こ	と	に	一	因	が	あ	り	、	災	害	時	の	被	害	の	重	大	さ	が	懸	念	さ
	る	の	も	対	象	範	囲	が	広	す	ぎ	る	か	ら	だ	と	思	い	ま	す	。			
		ダ	ム	本	体	の	設	計	を	変	更	し	て	、	総	貯	水	量	を	1	億	ト	ン	か
		5	千	万	ト	ン	程	度	に	縮	小	し	、	他	の	治	水	利	水	施	設	と	組	み
		る	こ	と	も	検	討	す	べ	き	だ	っ	た	と	思	い	ま	す	が	、	素	案	で	取
		げ	ら	れ	な	か	っ	た	の	は	残	念	な	こ	と	だ	と	思	い	ま	す	。		

意見発表者2(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

◆ 足元の地球の叫びを聴いてほしい ◆

八ッ場ダム建設事業の検証に係る検討
 報告書(素案)概要版を閲覧させて頂き地元一住民として
 一言述べさせて頂きます

概要版を見させて頂き感じたことは、ダム事業建設についてあらゆる観点から実に幅広く検証されていると感じましたが、専門用語、数字等が非常に多く素人には理解、解釈することが困難でした。それはダム建設に係る検証作業ですから致し方ないと思われま。そんな中で、目的別総合評価で洪水調節、同・新規利水、同・流水の正常な機能の維持又、持続性、地域社会への配慮、環境への影響、費用対効果等が堤防のかさあげ、新規導水等のダムに頼らない事業よりダム建設の方が優位であることが証明、立証されていると感じられます

ほとんどの項目でダム案優位の結果をふまえ今後の検証作業がすむずに進みダム建設が実現されることを切望します。

概要版にも記載されておりますが、費用も作業も又水没住民の移転、代替え用地の取得も最終段階を迎え今ここで中止というような事態になったら今まで使われた尊い税金は藻屑と消去する事でしょう。

今回の意見聴取は述べるだけのことですが、もし(中止)ダムは出来ないそんな時は 思いで深き故郷を捨てて出て言った人達が故郷が沈まないの昔のあの地帰りたいと言ったら戻してくれますか、古里へ移転してもいいですか又買い上げた農地は元の地主に売ってくれますか 沈まないのだから

こんな人達がおります こんな事も今後の検証作業に入れて検討して頂きたいダム案優位を実現し 犠牲を顧みずダム建設に協力した住民に安心と、安らぎを与えるのが、今の国の最大責務ではないでしょうか

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内に記述して下さい。

意見発表者3(会場②群馬県長野原町)

八ッ場ダム 建設事業の検証に係る検討
 報告書(素案)概要版を閲覧させて頂き地元一住民として
 一言述べさせて頂きます

概要版を見させて頂き感じたことは、ダム事業建設についてあらゆる観点から実に幅広く検証されていると感じましたが、専門用語、数字等が非常に多く素人には理解、解釈することが困難でした。それはダム建設に係る検証作業ですから致し方ないと思われま。そんな中で、目的別総合評価で洪水調節、同・新規利水、同・流水の正常な機能の維持又、持続性、地域社会への配慮、環境への影響、費用対効果等が堤防のかさあげ、新規導水等のダムに頼らない事業よりダム建設の方が優位であることが証明、立証されていると感じられます

ほとんどの項目でダム案優位の結果をふまえ今後の検証作業がすむずに進みダム建設が実現されることを切望します。

概要版にも記載されておりますが、費用も作業も又水没住民の移転、代替え用地の取得も最終段階を迎え今ここで中止というような事態になったら今まで使われた尊い税金は藻屑と消去する事でしょう。

今回の意見聴取は述べるだけのことですが、もし(中止)ダムは出来ないそんな時は 思いで深き故郷を捨てて出て言った人達が故郷が沈まないの昔のあの地帰りたいと言ったら戻してくれますか、古里へ移転してもいいですか又買い上げた農地は元の地主に売ってくれますか 沈まないのだから

こんな人達がおります こんな事も今後の検証作業に入れて検討して頂きたいダム案優位を実現し 犠牲を顧みずダム建設に協力した住民に安心と、安らぎを与えるのが、今の国の最大責務ではないでしょうか

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内に記述して下さい。

意見発表者4(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

私達は昭和40年に川原湯地区に於て「下湯原ダム」
 対策研修会」を結成し、同年川原湯対策委員会を立ち
 上げて参りました。長野原町議会や村中が、ハッ場ダム
 へ絶対反対を唱え、中、村八分は成り下がら、手銭手舞
 当でダム対策を行、水特法等を作り、生活再建の討
 策等も行、て来ました。自分達の土地、建物を担当に
 入れて銀行から金を借りて、時には裁判に依りまし
 ました。それでも自分達の生活再建の為に対策を取っ
 て来ましたが、群馬県を国交省が、出てるは、く水ませ
 ました。利根川、荒川、水源地域対策基金事業費、ハッ
 場ダム建設事業に伴う補償基準等文章は全てウソの約
 束でした。合、ダム推進に、いや反対だと騒いでい
 ますが、本当に真剣に、ダム対策を行、て来れば、
 どの、ちで対応でき、ます。それより、今まで、対策に使
 った金を返えして下さい。お願い致します。私は、仮
 住居を、追いついて、ホームレス状態のです。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者5(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

一、最初に——意見聴取の内容以前の問題なり。 やり直しを求める

① ダム建設は、「原発」と同じく、まぎれもない「国策」の一つである。とりわけ59年目突入のハッ場ダムは、いわばその筆頭格と呼べよう。

従って、「最初にダムありき」の造らんがための至上命令が優先。強権を駆使して推し進められてきた自然破壊や、ふるさとを守ろうとする現地関係者の当たり前の権利さえもないがしろにされた過程。まさに人権蹂躪に値する事柄は枚挙にいとまがなく、相克の歴史をひもとく時、おのづと哭するものがある。

② 最も、看過できない最大の問題は、これから担う、若い世代に財政的にも安全面からも、背負いきれない大きな負担を強いることにある。一連の政策審議に、何ら関与していないにも関わらずである。戦争・原発などに匹敵する国家の大罪とよべよう。

為に、責任のある親世代は、新政権樹立後の見直し策に、誰しも大いに期待した。が、裏切りに等しい愚策があいも変わらず続く。

③ 学問の叢と目されてきた「日本学術会議」にても、去る10/19、毎日新聞一面で報じられたような「最初に結論ありき」の現実が、谷誠京大教授の勇氣ある質問状によって、白日のもとにさらされた。今般の「検証に係る検討報告書」過程にも、日本学術会議・有識

者会議（非公開の密室の場）と密接につながっていることは自明の理である。

④ 拙述すぎる。20日に公表し、本日29日締切とはいかにしても、ご都合主義では？

従って、治水・利水への意見を求められる内容検討以前に、「やり直し」を求める所以だ。その際、メンバーの人選には留意。非公開などの時代錯誤も甚だしい閉鎖性を伴なわぬことを強く要望する。

二、上述を、裏付ける例として概要版より

① 概要版 P14~P16

これだけの地すべり危険箇所がありながら、それらを隠蔽してきた過去の責任問題。直ちに、水没地内の各戸に謝罪説明をすべきことではないか？

② 概要版のP25 水需要の点検確認

(審議過程の手順とはいえ)、これらの機関は皆、現行の体制維持の主たる関係機関。そこが必要としているからという茶番的な結論は断じてやめて欲しい。

意見発表者8(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

利水についで・利根川流域6都県の上水道の一日最大給水量は1990年代後半から減少している。群馬県の一日最大給水量は1997年から減少の予測と実績との乖離について十分な検証がなされていらない。今回の検証でも利水参画者の水需要予測を審査せずそのまま容認している事が問題である。治水について・国交省の試算ではカスリーン台風規模の台風が襲来した時は八斗島地点での八ッ場ダム以外の治水対策は妥当性がなく、利根川の治水対策は治水効果のない八ッ場ダムでなく、堤防整備・強化と河床掘削を速やかに行うべきである。地すべり対策について・地すべり危険箇所が22ヶ所ある。いずれも地質が脆弱で地震などで崩壊の危険性がある。地すべり対策と代替地の安全対策について検証を行うべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者9(会場②群馬県長野原町)

意見の概要

利水についでには東京都の最大給水量を現状の約2割増しの600万m ³ /日にするなどの現状をたどっている。群馬県の水道も水需要が減少の途をたどっている。人口減の時代に合わせ、地下水の利用や水利権の見直しを行えば、八ッ場ダムに水源を求める必要性は皆無でである。治水については、基本になる数字として著しく過大なものをあげている。馬淵大臣が、国会であげた数字は今まで国交省が出してきた数字とは違っており、この検証で出されている数字も今までとは違っているなど、八ッ場ダム案が有利になるように、数字の操作が行われており、私たち一般人から見ても極めて不透明である。何より心配なのは、現地の安全性である。その検証もしっかりやっかってほしい。大滝ダムなど今まで作られても大な問題をかかえているダムが数多くある。その検証も合わせやっかってほしい。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者2(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

今、証は画る計水県とるッ八く上与
 回、証じに。画代のの。場ッ引がえ
 の業はとよとを替富比まダ場さるた
 八継程すてるのがまのか八くがのらにの
 ッ続遠る本がまのか八くがのらにの
 場のい利来、ま比較導場番水利水、っだ
 ダ結も水は今容認し水ダ劇に効そたけ
 ム論の予不回のしかすムのな果の。の
 のがで定要のしかすムのな果の。の
 検先あ者な検て行るが検るが結八検
 証に。は水証、わなど適でう前、場証
 はあ。現をはの、だあるにの治ダな
 中、利現をはの、だあるにの治ダな
 止、水実八各要っ非とる。数字表代事て
 方証にと乖場水水。実う治の値替業い
 のあ、離ダ予量その断に作りゴ
 撤り、はたに者確結利がつが格費一
 回、はたに者確結利がつが格費一
 を予東水求の保果水さい行段用サ
 企断京需め水す、代れてわにがイ
 図な都給て需る静替てはれ大跳ン
 しきを計い給利岡案い八たきねを

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者3(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

今、最も	回、現	の、実	事、的	業、か	検、つ	証、効	で、果	八、的	ッ、な	場、事	ダ、業	ム、で	が、あ	利、る	根、と	川、い	の、う	洪、こ	水、と	対、が	策、明	上、ら	、か	
に、な	戦、後	た、ら	人、を	害、を	の、時	川、流	域、の	て、は	今、回	る、ま	わ、か	の、が	一、刻	完、成	を、願	つ、て	い、る	。	。	。	。	。	。	。
戦、後	間、も	な、い	ス、リ	一、者	、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私								
た、ら	し、た	カ、ス	リ、一	者、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私									
人、を	超、え	る、死	者、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私	も、私										
害、を	も、た	ら、し	た、今	な、お	鮮、明	な、記	憶、と	し、て	残、っ	て、い	る、。	利、根	川、に	よ、る	悲、劇	を、今	な、お	忘、れ	て、は	い、な	い、。	。	。	
川、流	域、の	住、民	は、カ	ス、リ	一、台	風、に	よ、る	悲、劇	を、今	な、お	忘、れ	て、は	い、な	い、。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
て、は	い、な	い、。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
今、回	の、東	日、本	大、震	災、の	津、波	や、福	島、の	原、発	事、故	の、例	を、見	る、ま	で、も	な、く、	予、想	を、超	え、る	天、災	、事	故、は	い、つ	起、き	る、か	
わ、か	ら、な	い、。	被、害	を、出	さ、な	い、た	め、に	最、大	限、の	努、力	を、す	る、の	が、国	の、責	務、と	考、え	て、い	る、。	。	。	。	。	。	。
の、一	刻、も	早、く、	ダ、ム	本、体	の、工	事、に	着、手	し、計	画、ど	お、り	の	完、成	を、願	つ、て	い、る	。	。	。	。	。	。	。	。	

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者4(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

昭	和	2	2	年	の	カ	ス	リ	ー	ン	台	風	の	際	、	私	の	住	ん	で	い	る	す	
ぐ	近	く	の	堤	防	が	決	壊	し	大	災	害	と	な	っ	た	。	我	が	家	も	被	災	者
家	族	で	あ	り	、	水	害	の	話	は	よ	く	話	題	に	の	ぼ	っ	て	い	る	。		
日	本	や	世	界	各	地	で	豪	雨	に	よ	る	大	規	模	な	水	害	の	ニ	ュ	ー	ス	
を	見	る	た	び	、	も	し	利	根	川	流	域	で	同	じ	よ	う	な	豪	雨	が	あ	っ	た
ら	と	不	安	に	な	る	。																	
今	回	の	検	証	で	、	八	ッ	場	ダ	ム	が	利	根	川	流	域	の	治	水	上	、	費	
用	対	効	果	も	含	め	、	最	も	有	効	だ	と	の	結	果	が	出	た	か	ら	に	は	、
速	や	か	に	事	業	を	す	す	め	、	利	根	川	流	域	の	住	民	の	安	心	安	全	を
確	保	す	る	の	が	国	の	責	任	で	は	な	い	か	。	命	の	問	題	で	あ	る	。	
ま	た	、	八	ッ	場	ダ	ム	は	、	利	水	の	面	に	お	い	て	も	、	埼	玉	県	の	
暫	定	水	利	権	の	問	題	を	解	消	し	、	渴	水	に	対	す	る	利	水	安	全	度	を
高	め	る	こ	と	が	今	回	の	検	証	で	明	ら	か	に	な	っ	て	い	る	。			
治	水	、	利	水	の	両	面	か	ら	八	ッ	場	ダ	ム	の	有	効	性	が	明	確	に	な	
っ	た	の	だ	か	ら	、	国	は	速	や	か	に	建	設	続	行	を	決	断	し	、	ダ	ム	の
早	期	完	成	を	目	指	す	べ	き	で	あ	る	。											

意見発表者5(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

八ッ場ダムの建設予定地には、名湯川原湯温泉があり、また、すぐ下流には吾妻溪谷という大事な宝がある。このあたりには、日本の原風景ともいえる貴重な里山も残っていたが、もうほとんど壊されてしまった。

一方で、八ッ場ダムの計画は、計画された当初は最新の技術だったかも知れないが、60年経った今は、やはり、時代遅れといわざるを得ない。

ダムによる治水はギャンブル的であり、また、日本や世界の各地でダムがの放流、決壊により大きな災害を生んでいる。

ダムをつくることよりも、洪水が起きそうな場所には住宅をおかない、住民は避難ができるようにしておくことが重要ではないだろうか。

利水では、水をためること以上に、水を大事に使うことが求められる。

とくに首都圏では、現在、ダムを新たに作るほど水不足は深刻という印象はない。

過去では、自然を破壊し、人間に都合のいいように作り替えることによって、私たちの生活を守ろうとしてきたが、これからは、人間が歩みより、自然の動きにあわせて柔軟に生きていかなければいけない。

意見発表者6(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

代替地崩壊の危険性については、報告書(素案)4.1.1、(1)、3)で「安定計算を実施し、対策工の必要性の点検を行った」としている。しかしながら、川原湯地区打越代替地については、長年の経緯のなかで、国交省の計算に対する安全性への懸念が解消されていない。この代替地の設計報告書(2003.3)によれば、湛水しない場合の設計条件として盛土内の間隙水圧(地下水)を盛土高の半分としながら、地下水を無視した計算結果が記載されていた。ほぼ同一条件で地下水を考慮すると、安全率が約3/4に低下することを円弧すべり解析によって発表者自身が確かめている。国交省があらためて現代替地の安全性を計算した報告書(2010.8.30)でも、打越代替地二、三期分譲地は「地下水の可能性無し」としている。地下水の浸出無しとする根拠の現地法面観測日は、数日間降雨がなかった日を選んでいった。降雨があれば、谷筋の盛土内を地下水が流下すると考えるのが自然である。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者7(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

議論の的となっている公共事業の是非について検証するのであれば、建設推進派と反対派の双方が対等に客観的データに基づいて議論する場が不可欠だ。ところが今回の八ッ場ダムの検証は、事業を推進してきた立場の国交省と各都県の担当者のみで9回も会合を重ね、利水の必要性の前提となる水需要予測の取り方を批判的に問い直すこともなく、そもそも優先度の高い、効果的な治水対策とは何か検討することもなかった。つまり治水上利水上八ッ場ダム建設が必要か、その根本的な議論が欠けている。八ッ場ダムが必要となる治水利水上の目標を設定した上で、ダム以外で同等の効果を発揮する事業を考え出したところ、富士川や千曲川から導水するという荒唐無稽な代替案が出て、各都県から何度も批判を浴び、「やっぱり八ッ場ダム」との結論に至った、というのは、この検証の仕組みからして当然の筋書きであった。八ッ場ダム必要性の根本からの再検証を求める。

意見発表者8(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

この報告書で応桑層の認識(堆積環境と特性)が根本的に誤っているため、災害対策となっていない。このダムは、土砂災害を誘発するだけでなく、協力住民の生活圏まで奪うこととなります。地域再生の要となる新駅建設地(上湯原地区)では1.3万年前に大規模地すべりが発生、背後から厚さ15m以上の山津波が襲い、吾妻川の河道が北へ移動しています。ダムを作り地下水を上昇させることは、応桑層分布域で同じ災害をもたらす状態を人為的につくる可能性が高いと考えます。この場合、鉄道と観光客が罹災します。この問題について、国交省・JRは認識していません。移転代替地の多くが、過去に地すべりを起した崩落土石の上のっています。地すべりと崩壊で蓄積した土砂は、浅間山が噴火した際、ダム堤の存在が下流域の河床上昇と破堤のリスクまで高めてしまうこととなります。また、八斗島周辺の歴史時代の地震と火山活動(榛名・赤城山の崩壊)による災害履歴は検討すらされておらず災害対策の視点でも不十分なものとなっています。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者9(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

検証の目的と方法：

- 日本が直面している危機に際して、「なるべくダムに頼らない」という理念を予断なく追求すべき。公開の場で討議し、国民、政治家、マスコミが正しい理解を共有して判断すべき。
- 行政には「国民の英知を求める」という謙虚な姿勢が欠けている。

治水：

- 基本高水/目標流量は、実績流量との乖離が大き過ぎる。

利水：

- 水需給予測に関する水需要予測が過大。特に東京都。
- 暫定水利権は事実上安定しているので安定として扱うべき。

「費用対効果」には負の便益も算入すべき：

- 国交省の試算の中には、物理的にありえない前提に基づいているものもある。
- 便益には、マイナス便益も公平に算入した上で比較すべき。

完成時期と総工事費の増額：

- 推進側は「予定通り2015年までに完成せよ」と声高に主張しているが、現実的には今後10年はかかる。下流都県として原点から見直すべき。
- 建設費総額は追加工事、「減電補償」を含めて巨額の増額が予想される。

意見発表者10(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

わたしは東京都の多摩地域に住んでいる。多摩地域では水道水源の一部に地下水を使っている。多摩地域全体では約3割が地下水である。将来も水道水として飲み続けたいと思っっているが、東京都は多摩の地下水を水道水源として算入していない。今回の検証がおかしいと思う点は大く土壌があるか、中でも東京をけじめとするハッ場ダムに参画している都県が出した水需要予測をそのままにして非現実的な代替案を示し、その金額を比較していること、とんども正しいことだと思ふ。東京はまだ人口が増えているが、水の需要は減っている。東京都が予測している1日最大配水量600万m³は2003年に出した数字である。実際には、1992年には617万m³だったが、1993年以降着実に減っている。2003年には506万m³で、今では500万m³を割り込んでいる。このような状況を踏まえ水需要予測をし直せば、確実に少ない水需要になり、ハッ場ダムもはかけた代替案も必要ない。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者11(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハッ場ダムは完成させると、なお地域振興と環境保全に不余二期すること。治水を示された代替案は発生する洪水を正確に予測する。治水のハッ場ダムは有効と有り得る。ハッ場ダムと平行して事業化する。ダムからの洪水の突壁に防げない。夏の高水の予測値は過去最大値を基礎とする。行政の責任がある。水あり論は水道水のメー主張するが農業用水、水路の劣化、河川と環境維持用水の確保を切望する。軽度水利権は秋田に取組の仕組に改めると水あり。熊のダム論は幻想であり、表流水は海に流れ地下水の多くは樹木の生長に消費される。山間部には巨大ダムの建設は高度成長期に必要であったが卒業した。荒川一調池は970万m³、カエマの完成とすると、実に1億m³になる。必要の水は身近な所に留置く発想にしなくては、水質は強酸性製品の中知るか村来干渉がある。別の策と水あり。吾輩峡谷の景観保全は特に発案所まの岩と生態保全の案を示すこと。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者12(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハツ場ダムは利根川水系の治水や利根川の水の安全度を高める施設として、コスト面から最も実現可能な事業であることが改めて明白となり、このような結果が示された以上他の選択肢はない。津波やカクダム本体工事と着手し、計画通りに事業を完成すべきである。

埼玉県の水資源は、日本一の人口急増県により慢性的な渇水体質となっておりハツ場ダムを始めとする暫定水利権でしのぎを削るハツ場ダムの完成によりこの暫定水利権を解消することが埼玉県民の悲願である。

また、去る3月11日の大地震により利根川の堤防が被災しており、堤防そのものの強度がねぐられている恐れがある。上流からの洪水流量をより少なくすることが緊急の課題である。ハツ場ダムは上流の1/4を占める重要川流域の唯一のダムである。一刻も早く完成し、最近頻発している異常豪雨に備えるべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者13(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハツ場ダムは利根川水系の治水や利根川の水の安全度を高める施設として、コスト面から最も実現可能な事業であることが改めて明白となり、このような結果が示された以上他の選択肢はない。津波やカクダム本体工事と着手し、計画通りに事業を完成すべきである。

埼玉県の水資源は、日本一の人口急増県により慢性的な渇水体質となっておりハツ場ダムを始めとする暫定水利権でしのぎを削るハツ場ダムの完成によりこの暫定水利権を解消することが埼玉県民の悲願である。

また、去る3月11日の大地震により利根川の堤防が被災しており、堤防そのものの強度がねぐられている恐れがある。上流からの洪水流量をより少なくすることが緊急の課題である。ハツ場ダムは上流の1/4を占める重要川流域の唯一のダムである。一刻も早く完成し、最近頻発している異常豪雨に備えるべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者14(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

毎日、蛇口から水道の水を飲んでいる者として、八ッ場ダム
の必要性について発言する。八ッ場ダムの検討報告書素案の総合的な評価において、ダム案が最も有利であると示されたが、検証を実施する前から判っていたことだと考える。3月11日の東日本大震災では、未曾有の大災害となったが、国や水資源機構が管理する大規模な水資源開発施設の被害報告はなかったと思う。事前にしっかりと調査を実施し、日頃から善良な管理を実施して貰う賜であると考え。今後、いつ何時、同様の大規模地震や近年の異常気象による渇水が発生するかわからない状況となっっている。災害が発生しても県民の方々が安心して生活できるよう、一日も早く八ッ場ダムを完成させるべきであると考えている。したがって、ダム事業の検証作業が行われているが、総合的な評価結果を真摯に受け止め、早急に継続という最終判断がなされるよう熱望する。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者15(会場③埼玉県さいたま市)

検討報告書(素案)において述べられている検討は、川の
素案継続ありきで「ダムは必要」という前提で進められ、
の政策転換を促すための考へ方にとり進められ、
検討」とはいえたい。とりわけ、関東地方整備局の連
かに策定手続を促すべく河川整備計画の策定を何年
も前からおこなってきたが、報告書に「河川整備計画
目標流量17000m³/秒」と記述されていること
は、(案の)「あ」の口がふさがる。関東地方整備局は、「河川
整備計画」の目標流量17000m³/秒を前提として
八ッ場ダムが「最適」とある報告書と提出する「あ」が、天
の2007年度の河川整備計画策定手続の際に市民か
ら提出された「あ」の意見、疑問にまともな答えが
あべまら。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者16(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

埼玉県は海に面した県である。従って、県内の洪水は全然大河川に排水され、県北東地域は利根川を頼りとしている。大さな利根川が昭和三十九年の大雨を再び越え、被害は拡大した。このためにも、本県にとつて利根川の治水対策は重要である。利根川沿川の洪水に対するリスクを低下させるためにも、上流のダムで利根川の水位を低下させることである。このことからハツ場ダムが重要不可欠であることは申すまでもない。一方、ハツ場ダムは本県にとつて水道水の水源確保において重要なダムである。地下水の利用や地盤沈下を引越すため、河川水への転換をすすめている。しかしながら、河川水の水利権の中には、ハツ場ダムの建設を前提とする権利があり、それができなくなるとハツ場ダムの建設が困難になる。治水対策ととも、早期に着工されるようお願いします。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者17(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

洪水対策について伺いたい

ハツ場ダム建設事業検討報告書－洪水対策についての安全度の検証がされた項目、(4-5-10安全度)では、台風による災害のみが想定されているようであるが、浅間の爆発に関しては如何なものでしょうか？

1783年に起きた爆発では、土砂が流れ出し、ちょうどあのダムサイト予定場所で一旦塞ぎ止められ、その後一気に流出した事実はその後の発掘においても明らかです。犠牲になった方たちの遺体が遠く千葉のあたりまで流れて行ったと聞いています。浅間の爆発による惨事は忘れてはいけない事なのではないでしょうか？ 浅間が爆発し土砂が流れ出せば、簡単に土砂ダムができます。今年の台風の時(熊野)の様な状況になるでしょう。台風と津波が一緒に起こったようなこの歴史に残る事実を想定外にしてよいものなのでしょうか？

意見発表者18(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

1	こ	れ	ま	で	3	回	ハ	ッ	場	ダ	ム	建	設	予	定	地	を	見	学	し	て	感	じ	た
2	こ	と	。																					
3	自	然	環	境	破	壊	の	危	惧	。														
4	9	月	に	被	災	地	(	石	巻	・	女	川	)	に	行	っ	て	感	じ	た	こ	と	。	
5	宮	澤	賢	治	の	童	話	と	自	然	。													
6	8	月	2	9	日	の	「	検	討	の	場	」	を	傍	聴	し	て	感	じ	た	こ	と	。	
	山	を	下	り	る	英	断	を	求	む	。													

意見発表者19(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

検証素案に対する意見

この検証がハッ場ダムありきの検証ではなかったか？強い疑念を持っています。

利水について：実績と大きく乖離した利水予定者の水需要予測の見直しがなされたのか？予測の見直しをすれば、ハッ場ダムは不要となる。架空の水需要予測の見直しをしない検証は科学的な検証ではなく、国民の血税の浪費をもたらすものである。

治水について：昭和22年のカスリーン台風からすでに60年間以上経過、利根川では河川改修が進められ、大きな洪水が来ても氾濫の危険性がなくなっていること、ハッ場ダムの治水効果があてにならないことを踏まえた検証が全く行われていない。

利水、治水とも公正で客観的で科学的な検証とは云えないので、再検証を求めます。

ダム貯水池の地すべりと代替地の安全性について：東日本大震災などの自然の猛威を踏まえた検証が必要である。

ハッ場ダムは取り返しのつかない災害を誘発する危険性があります。人の命と財産を守るためにハッ場ダム建設の即刻中止を求めます。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者20(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

- 1 ハッ場ダムの検証検討が、ダム事業者である関東地方整備局と1都5県であることに異議あります。
- 2 利根川の基本高水 22000m³/秒に異議あります。
- 3 利水における検証検討が、各都県の現行の水需給計画をそのまま確認して行われたことに異議あります。ことに茨城県民として茨城県の水余りに対して意見を述べます。

意見発表者21(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

い	ろ	い	ろ	と	犠	牲	を	強	い	ら	れ	て	い	る	地	元	の	方	々	の	気	持	ち	を
想	い	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	の	必	要	性	に	つ	い	て	発	言	す	る	。	ハ	ッ	場	ダ
ム	の	検	討	報	告	書	素	案	の	総	合	的	な	評	価	に	お	い	て	、	ダ	ム	案	が
最	も	有	利	で	あ	る	と	示	さ	れ	た	が	当	た	り	前	で	あ	る	と	考	え	る	。
埼	玉	県	は	、	昭	和	3	0	年	代	後	半	か	ら	高	度	成	長	に	伴	う	急	激	な
人	口	増	加	に	よ	り	、	地	下	水	が	過	剰	に	汲	み	上	げ	ら	れ	、	県	内	各
地	で	地	盤	沈	下	が	発	生	し	た	。	こ	の	た	め	、	埼	玉	県	で	は	地	盤	沈
下	防	止	を	目	的	に	県	営	水	道	を	発	足	さ	せ	、	水	道	水	源	を	地	下	水
か	ら	河	川	表	流	水	に	転	換	す	る	施	策	を	推	進	し	て	き	た	と	こ	ろ	で
あ	る	。	今	回	の	検	討	に	お	い	て	、	地	下	水	も	含	め	い	ろ	い	ろ	な	代
替	案	が	示	さ	れ	て	い	る	が	、	ど	れ	も	現	実	性	に	乏	し	い	も	の	ば	か
り	で	あ	り	、	比	較	す	る	に	値	し	な	い	も	の	ば	か	り	で	あ	る	。	し	た
が	っ	て	、	利	水	に	関	し	、	ハ	ッ	場	ダ	ム	以	外	の	代	替	案	が	な	い	以
上	、	総	合	的	な	評	価	結	果	を	真	摯	に	受	け	止	め	、	早	急	に	継	続	と
い	う	最	終	判	断	を	し	、	一	日	も	早	く	完	成	さ	せ	て	い	た	だ	く	よ	う
強	く	望	む	。																				

意見発表者22(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

部厚い「ハツ場ダム建設事業の検証に係る検討」について
 の意見聴取があるが、私はこの中不記述の少い品木か
 人の問題について述べてみたい。命の危機を救うために
 2009年11月12日朝日新聞の記事で国交省が基準を起す
 と素を抽出していなから公表しない問題を取上げていた
 えもえも吾妻川に流水込むいくつかの支流は強酸性で
 あるため、ダムは造れない川とされていたのに中和す
 る品木ダムをつくりダム建設計画が進められたのだ。し
 かし、そのために石灰を1日60t投入し続けなければな
 らないのだ。火山活動で無限に出てくる酸性水、中和生
 成物が溜り続けるのである。そのため、それを後世つす
 るのであるが水を絞ってセメント固化しかん湖周辺に
 高く積み上げていく。問題は硫酸鉄のPHが高いと水溶性
 石灰と硫酸と不溶性の水酸化鉄に分解され周辺も
 と素汚染することだ。現在トライバースで500t以上を局
 所にためた素の存在に目を開く記にはいかなないのだ。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者23(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

水道事業に関する経験や知識に基づきハツ場ダムの必要
 性について発言する。ハツ場ダムの検討報告書素案の総
 合的な評価において、ダム案が最も有利であると示され
 たが当然の結果であると考え。埼玉県は、地下水と河
 川表流水を水源として給水しているが、約3割が渇水時
 に上乘せ制限を受ける暫定水利権であり、不安定な給水
 を強いられていると聞いている。埼玉県では、過去に頻
 繁に渇水に見舞われ苦慮した苦い経験があり、安定給水
 を実現するため、ダムをはじめいろいろな方策の水源確
 保に努めてきた。ハツ場ダムは、他に水源開発施設のな
 い吾妻川流域に位置し、広く集水することができ効率
 の良いダムであり利根川上流ダム群と合わせ、本県の安
 定給水に寄与するものと信じている。したがって、ダム
 事業の検証作業が行われているが総合的な評価結果を真
 摯に受け止め、早急に継続という最終判断がなされ、一
 日も早く完成するよう強く熱望する。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者24(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

1	)	原	案	を	作	成	し	た	者	に	原	案	の	検	証	さ	せ	て	検	証	と	い	え	る	
か	基	本	的	な	疑	問	が	あ	り	ま	す	誤	り	と	認	め	な	い	限	り	同	じ	結	論	
が	で	ま	す	。																					
2	あ	ら	か	じ	め	枠	を	嵌	め	そ	の	中	で	作	業	す	る	「	初	め	に	結	論	あ	
り	」	に	見	ま	す	例	え	ば	各	県	の	水	需	用	を	徹	底	的	に	洗	い	直	し	た	
数	字	を	基	礎	に	し	て	な	い	。	東	京	都	の	水	需	用	と	供	給	の	差	は	百	万
t	/	d	以	上	で	す	。	こ	れ	だ	け	で	八	っ	場	ダ	ム	の	都	市	用	水	供	給	
量	約	10	t	/	s	を	充	分	ま	か	な	っ	て	い	る	か	ら	そ	も	そ	も	八	っ	場	
ダ	ム	は	い	ら	な	い	と	い	う	結	論	が	導	か	れ	る	。								
3	枠	を	超	え	た	大	胆	な	発	想	が	盛	ら	れ	て	な	い	。	百	年	と	か	50	年	
に	1	度	の	大	洪	水	を	許	容	す	る	霞	堤	等	と	補	償	、	ヨ	一	口	ッ	パ	の	
河	川	再	自	然	化	、	氾	濫	原	の	回	復	(	オ	ラ	ン	ダ	で	の	川	沿	い	の	農	
地	を	も	と	の	氾	濫	原	に	、	堰	で	閉	じ	て	淡	水	に	し	た	気	水	域	を	河	
口	堰	を	半	開	放	で	も	と	に	戻	す	)	河	川	管	理	か	ら	流	域	管	理	へ	、	
な	ど	堂	堂	と	主	張	さ	れ	て	な	い	。													

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者25(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

今	回	検	証	の	利	水	に	つ	い	て	、	前	提	と	な	る	水	需	要	予	測	が	そ	も
そ	も	現	実	と	乖	離	し	て	い	る	。	首	都	圏	で	は	人	口	の	減	少	、	節	水
型	機	器	の	普	及	な	ど	に	よ	り	、	水	道	水	配	水	量	は	減	少	傾	向	に	あ
る	。	昨	年	、	私	た	ち	は	東	京	の	水	道	に	関	す	る	水	需	要	予	測	の	見
直	し	を	求	め	る	請	願	を	提	出	し	た	。	し	か	し	、	東	京	都	水	道	局	は
都	議	会	の	請	願	採	択	を	無	視	し	、	水	需	要	予	測	の	見	直	し	を	行	っ
て	い	な	い	。	検	証	で	は	ま	ず	、	利	水	の	前	提	条	件	を	正	し	く	把	握
す	る	た	め	に	、	利	水	予	定	者	の	水	受	給	計	画	を	厳	し	く	審	査	す	る
必	要	が	あ	っ	た	の	で	は	な	い	か	。	首	都	圏	の	人	々	が	必	要	と	し	て
い	な	い	水	の	利	水	の	た	め	に	山	間	の	自	然	を	壊	し	、	予	定	地	住	民
の	生	活	を	壊	す	こ	と	は	あ	っ	て	は	な	ら	な	い	こ	と	だ	。	ダ	ム	に	依
存	し	な	い	利	水	の	代	替	案	は	、	過	大	な	水	需	要	を	他	に	求	め	る	こ
と	で	は	な	く	、	水	循	環	の	回	復	に	よ	る	水	源	自	立	を	す	す	め	る	こ
と	に	あ	る	は	ず	。	東	京	も	多	摩	地	域	の	雨	水	浸	透	を	す	す	め	、	地
下	水	を	涵	養	し	、	保	有	水	源	を	守	る	こ	と	に	よ	り	、	ダ	ム	に	依	
し	な	い	利	水	計	画	が	つ	く	ら	れ	る	は	ず	と	確	信	し	て	い	る	。		

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者26(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

治水の点では、目標洪水流量を過大に定め(利根川の最近60年間の最大流量は1,998年の9,220 m³/秒の筈。採用している17,000 m³/秒は過大)、八ッ場ダム治水効果を過大評価し(従来、八斗島地点における高水流量削減効果は600 m³/秒の筈。今回1176 m³/秒に引き上げた根拠がおかしい)、その結果、治水代替案より八ッ場ダム有利、の結論を作っている。

利水の点では、水需要実績を無視した過大な需要予測を行い(東京都の例では、一日最大配水量は1992年度からほぼ減少の一途をたどっているのに、都の予測では大きく増加していくことになっている)、利用予定者の保有水源の意図的な過小評価を行って(東京都は多摩地域の地下水45万 m³/日を水道水源として長年使っており、今後も使用可能な水源であるにもかかわらずこれを水道水源としてカウントしていない)、現実性のない利水代替案と比較して八ッ場ダム有利、の結論を作っている。

上記の点を改めて適正な結論を導くべきである。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者27(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

治水・利水において、ダム建設が有効であるという時代は終わりました。原発は安全で経済的であるという「神話」が終わりを告げたように、ダムは頼りになって経済的であるという「神話」も終わりです。今回の「八ッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書」を読んでも「費用対効果」の検証は信用できないと思いました。検討に係った幹事の皆さんがこの「費用対効果」の数字的根拠についてどのくらい深く検討されたかはわかりませんが、公表されたものをざっと見ても不思議に思う数字が並んでいます。例えば、費用対効果の項目の内「流水の正常な機能の維持に関する便益」を約139億円と見込んでいますが、アンケート調査した50キロメートル圏内には、520,981世帯があるというので約120万人の住民がいると思われませんが、1500人に調査用紙を送り648票帰ってきて有効票が281票であるとの記載があります。139億円を算出する根拠としては信じられない方法です。無理なコスト計算でダムを造るのは次世代に対して申し訳がありません。

意見発表者30(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

ハツ場ダム建設については、賛成をする方、反対をする方、色々の方がいらっしゃると思いますが、何よりも考えなければならぬのは、現地の人たちの利益だと思えます。ハツ場ダムが建設されるのか、されないのか、はっきりわからぬということでは、現地の人々を困らせることにならぬ、と思っているます。現地の住民の方々にとって、最良の選択となる決定を、早急に行うことが求められているのだと考えます。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者1(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

ハツ場ダム建設事業推進を図ってもらう立場から以下の内容について陳述を希望します。

- (1) 気候変動に伴う世界的に異常降雨ならびに大洪水の状況と治水の予防的治水策インフラの確保は喫緊の課題
- (2) 事業投資の効果を確保は一番有利
- (3) 計画の根拠流域の冠水的インフラ確保は、地域住民の生活基盤維持のため将来への保険保証と同義
- (4) 自然保全の観点から緊急的は河川水の流下は追々の自然系維持が図れる。
- (5) 流域の民意を反映する各関係者の意見を最優先すべき

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者2(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

カ	ス	リ	一	ン	台	風	に	よ	る	未	曾	有	の	悲	劇	を	教	訓	に	始	め	ら	れ	
た	利	根	川	流	域	の	関	係	都	県	や	市	町	村	に	よ	る	水	防	演	習	も	今	年
で	6	0	回	に	な	ろ	う	と	し	て	い	る												
	水	防	演	習	は	、	水	害	を	防	ぐ	具	体	的	な	訓	練	、	技	術	の	向	上	や
記	憶	を	風	化	さ	せ	な	い	意	識	啓	発	に	役	立	っ	て	い	る		私	は	水	防
団	長	と	し	て	、	平	成	1	0	年	か	ら	既	に	2	0	回	以	上	出	動	し	、	堤
防	の	漏	水	を	防	い	で	い	る															必
性	を	肌	で	感	じ	る																		要
	国	民	の	生	命	財	産	を	守	る	こ	と	は	、	国	家	の	本	務	で	あ	る		利
根	川	流	域	の	治	水	対	策	に	お	い	て	、	八	ッ	場	ダ	ム	が	現	実	的	に	最
も	よ	い	方	法	と	な	っ	た	か	ら	に	は	、	速	や	か	に	完	成	さ	せ	る	の	が
当	然	で	は	な	い	か																		す
れ	ば	、	そ	れ	は	天	災	で	は	な	く	、	国	に	よ	る	人	災	と	な	っ	て	し	ま
う																								ま
	私	た	ち	利	根	川	流	域	の	住	民	が	安	心	し	て	暮	ら	し	て	い	け	る	よ
う	国	の	決	断	に	期	待	し	て	い	る													う

意見発表者3(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

	八	ッ	場	ダ	ム	の	で	き	る	だ	け	早	い	完	成	は	、	利	根	川	流	域	住	民
の	切	な	る	願	い	で	あ	る																
	昭	和	2	2	年	の	カ	ス	リ	一	ン	台	風	の	際	、	旧	大	利	根	町	の	堤	防
が	決	壊	し	、	埼	玉	県	か	ら	東	京	都	の	広	い	範	囲	で	大	き	な	被	害	を
も	た	ら	し	た																				
が	、	地	震	そ	の	も	の	の	被	害	よ	り	も	津	波	に	よ	る	被	害	が	遙	か	に
大	き	か	っ	た																				
地	震	も	怖	い	が	水	害	は	も	っ	と	恐	ろ	し	い									
	災	害	対	策	は	国	の	使	命	の	一	つ	で	あ	る									
防	波	堤	な	ど	の	津	波	対	策	を	し	て	い	た	に	も	か	か	わ	ら	ず	、	そ	れ
を	超	え	る	大	き	な	津	波	が	押	し	寄	せ	大	災	害	と	な	っ	た				
害	に	対	し	て	こ	れ	で	十	分	と	い	う	こ	と	は	あ	り	得	な	い	の	で	は	な
い	か																							き
	八	ッ	場	ダ	ム	が	利	根	川	の	治	水	対	策	上	、	現	実	的	で	有	効	な	方
法	で	あ	る	と	い	う	こ	と	が	明	ら	か	に	な	っ	た	の	で	あ	る	か	ら	、	早
期	に	着	工	し	完	成	を	目	指	す	の	が	国	の	責	任	と	考	え	る				

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者4(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

私	が	5	歳	の	時	に	体	験	し	た	昭	和	22	年	の	カ	ス	リ	ー	ン	台	風	に	
よ	る	洪	水	は	、	関	東	地	方	に	大	き	な	被	害	を	も	た	ら	し	る	私	が	住
む	地	域	も	家	屋	や	タ	ン	ス	等	の	家	具	類	か	ら	牛	馬	に	至	る	ま	ま	で
流	さ	れ	る	恐	ろ	し	い	光	景	が	、	今	も	鮮	明	に	思	い	浮	か	び	ま	す	。
	更	に	、	社	会	人	と	な	り	地	元	消	防	団	と	し	て	活	動	を	し	て	い	た
こ	ろ	に	も	幾	度	か	の	大	雨	に	よ	り	、	利	根	川	の	堤	防	が	決	壊	し	そ
う	な	場	面	に	遭	遇	す	る	と	恐	怖	を	感	じ	た	こ	と	も	あ	り	ま	し	た	。
	ま	た	今	般	、	メ	デ	ィ	ア	で	大	き	く	取	上	げ	ら	れ	て	い	る	タ	イ	の
洪	水	被	害	は	深	刻	な	も	の	で	、	そ	こ	に	住	む	人	々	は	も	ち	ろ	ん	、
産	業	界	に	も	大	き	な	ダ	メ	ー	ジ	を	与	え	て	お	り	ま	す					
	こ	の	よ	う	な	水	害	の	軽	減	対	策	と	し	て	は	、	大	河	川	上	流	の	雨
水	の	流	出	を	抑	え	る	こ	と	が	重	要	で	、	そ	の	効	果	が	最	も	期	待	で
き	る	も	の	が	ダ	ム	建	設	で	あ	り	、	地	元	住	民	の	理	解	を	得	た	上	で
関	係	地	方	自	治	体	の	負	担	と	協	力	の	下	、	半	世	紀	以	上	に	わ	た	っ
て	建	設	を	推	進	し	て	き	た	八	ッ	場	ダ	ム	の	建	設	工	事	の	早	期	再	開
と	ダ	ム	完	成	を	是	非	と	も	願	う	も	の	あ	り	ま	す							

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者5(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

本	検	証	に	よ	っ	て	、	八	ッ	場	ダ	ム	は	利	根	川	水	系	に	お	け	る	治	
水	、	利	水	の	安	全	度	を	高	め	る	対	策	事	業	と	し	て	、	現	実	的	、	か
つ	最	も	効	果	的	な	必	要	不	可	欠	な	も	の	で	あ	る	こ	と	が	明	ら	か	に
な	っ	た	も	の	と	思	料	す	る	。														
	こ	の	よ	う	な	検	証	結	果	が	明	示	さ	れ	た	以	上	他	の	選	択	肢	は	な
い	と	考	え	る	。	よ	っ	て	地	方	自	治	体	・	関	係	住	民	及	び	地	権	者	の
理	解	と	協	力	の	も	と	、	速	や	か	に	ダ	ム	本	体	工	事	に	着	手	し	、	計
画	通	り	に	事	業	を	完	成	す	べ	き	で	あ	る	。									
	利	根	川	流	域	住	民	は	、	6	4	年	前	の	カ	ス	リ	ー	ン	台	風	に	よ	る
大	水	害	の	悲	劇	を	忘	れ	る	こ	と	は	で	き	な	い	し	忘	れ	て	は	な	ら	な
い																								
	私	達	は	、	歴	史	的	に	輪	中	の	地	に	生	き	る	人	と	し	て	、	日	常	不
断	か	ら	治	水	対	策	と	共	に	水	防	活	動	に	努	め	て	き	た					
	八	ッ	場	ダ	ム	建	設	は	、	今	後	3	0	年	で	整	備	可	能	な	整	備	と	し
て	、	完	成	を	目	前	に	し	て	お	り	ダ	ム	建	設	は	利	根	川	沿	線	住	民	の
治	水	安	全	度	を	高	め	る	た	め	、	国	は	建	設	に	責	任	を	持	つ	べ	き	。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

意見発表者6(会場④埼玉県久喜市)

意見の概要

こ	の	検	証	に	よ	っ	て	、	八	ツ	場	ダ	ム	建	設	は	利	根	川	水	系	に	お
け	る	洪	水	調	節	と	利	の	安	定	度	を	高	め	る	対	策	と	し	て	、	総	合
的	な	評	価	で	最	も	有	効	で	、	か	つ	現	実	的	な	事	業	で	あ	る	こ	の
明	ら	か	に	な	っ	た	。	い	る	い	る	な	案	を	検	討	し	た	う	え	で	の	結
で	あ	り	、	こ	れ	を	尊	重	す	べ	き	は	当	然	で	あ	る	。一	刻	も	早	く	ダ
ム	本	体	工	事	に	着	手	し	、	一	日	も	早	く	完	成	す	べ	き	で	あ	る	。
川	私	た	ち	利	根	川	流	域	住	民	は	、	川	の	恵	み	に	感	謝	し	つ	つ	も
風	の	恐	ろ	し	さ	も	経	験	し	て	い	る	。昭	和	22	年	の	カ	ス	リ	一	ン	台
発	生	し	ま	し	た	。																	が
今	後	、	地	球	温	暖	化	や	気	候	変	動	で	心	配	さ	れ	る	大	洪	水	や	渴
水	の	発	生	を	防	止	し	、	流	域	住	民	や	首	都	圖	住	民	の	生	活	を	安
に	守	る	た	め	に	、	八	ツ	場	ダ	ム	建	設	は	必	要	不	可	決	な	施	設	で
る	。さ	ら	に	、	事	業	の	約	8	割	が	進	捗	し	て	い	る	八	ツ	場	ダ	ム	建
設	事	業	は	、	費	用	対	効	果	の	面	か	ら	も	当	然	続	行	さ	れ	る	べ	き
、	そ	の	早	期	完	成	が	利	根	川	流	域	住	民	の	願	い	で	あ	る	。		

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。